



さちが丘小学校 学校だより

若竹

1月号

令和4年1月7日

横浜市立さちが丘小学校

校長 高浜 正太郎

WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sachigaoka/>

新しい年を迎えて

校長 高浜 正太郎

新型コロナウイルス感染拡大に脅かされ、「新しい生活様式」が求められてから2年が経過します。その感染者数も昨年末より減少傾向に転じて、少しずつ日常の生活が戻ってまいりました。元旦には雲一つない晴天の中、新しい新年の太陽が昇ってきました。各ご家庭におかれましては、どのような年末年始を過ごされたのでしょうか。

さて、新年を迎えて各地では初詣で賑わい、昨年と比較すると2倍から7倍もの参拝客が神社や寺を訪れたと報道等で紹介されています。この年末年始に久しぶりに帰省されたご家庭もあったことでしょう。

変異株による感染者数増加も懸念される材料となりますが、感染症対策を講じた上で、この2年間でできなかった様々なことができるようになってきました。本校においても、運動会やマラソン大会、遠足や社会科見学、宿泊体験学習などの行事を10月から12月にかけて実施することができました。計画や運営上、苦慮する点多々ありましたが、達成感に満ちた子どもたちの輝かしい笑顔を見ると、その苦労も吹き飛ばされる思いでした。

コロナ禍以前には当たり前のように実施できていたことが、なかなか通常通りに実施できない現状が続いています。だからこそ、「当たり前に行えること」に感謝しながら学校生活を過ごしていくよう指導していきたいと思えます。

昨年の丑年は「我慢（耐える）の年」「発展の前触れ（芽が出る）年」といわれていました。今年2022年の寅年は、昨年培ったものが更に発展して、「新しい芽が成長する」「新しい日常が始まる」というような年になるといわれています。

本日より令和3年度の締めくくりとしての約3か月間がスタートします。さち小の子どもたちが「さらにしなやかに 伸びやかに」成長していけるように、教職員一同、気持ちを一つにして指導に努めてまいります。保護者・地域の皆様おかれましては、昨年同様、本校の教育活動に対してご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



校舎屋上から見える富士山